

事例報告②



有限会社埼玉ライフサポート

グループホームひいらぎの里

グループホーム2ユニット事例



◆11月9日グループホーム2職員夜勤明け、咽頭痛と微熱あり、病院でPCR検査

◆11月10日検査結果陽性と判明、ホテル療養となる。

◆11月11日入所者様6名をPCR検査実施

◆11月12日検査結果5名陽性判明、翌日以降順次入院関わっていた職員6名PCR検査実施

◆11月13日検査結果、職員3名が陽性判明、ホテル療養となる。

◆12月7日保健所より感染収束と判断される。

陽性者発生から収束まで

状態が落ち着き二週間を過ぎ、新たに陽性者が出ないことで収束とみなされる。

都度経過報告を関係機関に実施

指示を進行しながら、改善点を改める。

保健所と相談

保健所の指示の下
入院・自宅待機

陰性

陽性

濃厚接触者確認・PCR検査実施

保健所より連絡

新型コロナウイルス陽性者発生

グループホーム2ユニット

(関係機関へ連絡)

(施設内確認)



◆グループホーム2ユニットは、他のデイサービス・居宅事業所等とは離れの施設であったことから、感染対策の為、グループホーム2ユニットの建物内は関係者以外立ち入り禁止としました。

◆更衣室がグループホーム2施設内であった為、感染収束までは各事業所の空きスペースで更衣をお願いしました。

◆グループホーム2ユニットには濃厚接触者の入所者様1名が残り、その介護で新たな陽性者・濃厚接触者を出さないために、PCR検査で陰性（濃厚接触者）となりました職員と応援職員で入所者様の介護にあたりました。

※通常、濃厚接触者は自宅待機と言われていましたが、保健所・県と相談し、会社判断として（職員了承の上）おこないません。

介護に入っていたいただいた職員には感謝しかありません。





■ 普段は、他の事業所の職員も
同じ更衣室を使っていました。

保健所の方から、密になるとの
指摘をされています。



- 感染収束後、密を避ける為に、更衣室の使用を1人交代での使用に。
- 入退室の際には必ず手指消毒を行うこととしました。



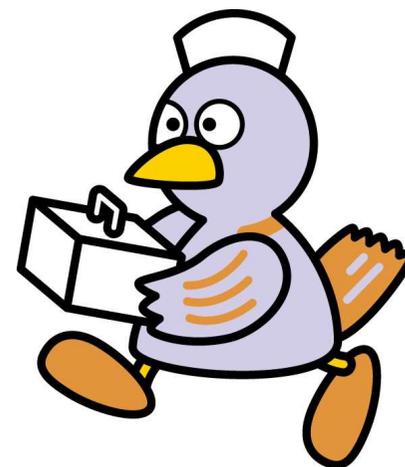
- グループホーム2ユニット入口、エレベーターから上がります。
- グループホーム室内以外も手指消毒できるようにしています。



■密を避ける為、
喫煙室も臨時に
外に設置しました。



皆様からの 質問への回答



1 濃厚接触者のリネン洗濯は、
通常の洗濯でよいか。

2 感染対応でのPPEで

シューズカバーは必要か。

使用しない場合、消毒剤

含浸マットの設置は必要か。

3 P P E を脱いだ後、
自分の衣類に消毒液を
吹きかけるのは、
感染対策として有効か。

4 マスクができない

疾患の方への

予防対策は何かあるか。

5 陽性者への介護の際は、
N95マスクの着用が必要か。

6 手袋が手に入りづらい。

どのように対処すればよいか。

代替手段はあるか。

7 ゾーニングに必要な備品は
どのようなものがあるか。